

令和4年度(2022)

高麗神社特別企画展

太平記 歴史絵画展

— よみがえる14世紀内乱の世界 —

歴史研究者 新井孝重 作画

中世の戦乱が目の前に蘇る！

開催期間：令和5年(2023年)

3月12日(日) ▶ 21日(火) 祝

開場時間：9:00 ▶ 16:00 ※入場無料

開催場所：高麗神社 参集殿2階 大広間

お問合せ・お申込み：高麗神社社務所

埼玉県日高市新堀833 電話042-989-1403

ミニ講演 & ギャラリートークショー

新井孝重・高麗文康

高麗神社宮司

第1回：3月12日(日)

第2回：3月19日(日)

第3回：3月21日(火)

いずれも13:30~15:00

※詳しくは裏面をご覧ください

定員40人

参加無料

事前申込

2/20より受付

主催：高麗神社

企画・運営：高麗神社・高麗1300

後援：日高市・日高市教育委員会・埼玉新聞社・飯能日高テレビ・文化新聞・三省堂書店/創英社

特別展に寄せて 高麗神社宮司 高麗文康

新井孝重先生は、地元日高市の文化財審議会委員長を務められ、地域の歴史保存等にご尽力されています。

2019年、先生から「『太平記』を絵にしているので近々絵本として出したい」とお伺いし、早速その絵を拝見しました。その絵は、中世武士たちの生き様、庶民の暮らしなどが生き生きと描かれていました。これは何としても多くの皆様に見ていただきたいと、“絵画展”開催のご提案を申し上げたところ、その場で快諾いただきました。2022年に『絵本太平記』が発刊されましたのを記念し、2023年春『特別展』を開催いたします。

昨年放送していたNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』から鎌倉幕府のその後を、『太平記歴史絵画展』を通して皆様とともに追ってみたいと思います。多くの皆様に、足をお運びいただけましたら幸いです。

あらいたかしげ

新井孝重・プロフィール

1950年埼玉県日高町生まれ
早稲田大学第一文学部卒業、
同大学大学院博士課程修了、
2001年文学博士学位取得、
現在、獨協大学名誉教授。

日高市文化財保護審議会委員

員長、日本高麗浪漫学会所属。主な著書に

『中世悪党の研究』『蒙古襲来』（吉川弘文館）、『絵本太平記』（三省堂書店／創英社・2022年）他多数



会場受付にて特別販売します
『絵本 太平記』新井孝重著

(三省堂書店／創英社)

太平記、そして絵本太平記へ

わたしたちは太平記に内在する「民衆性」の複雑さを理解し、しかもなおこの文学作品が、内乱時代の人びとの精神を生き生きと伝えてくれる、数少ない記録であることも評価すべきである。合戦と戦乱のなかで、だまし、だまされ、奪い、奪われ、それでも必死に生きる人びと、そういう人びとの、ひと眼をはばかりぬ派手な身なり、振る舞い、力の誇示、あからさまな欲望。どれもが今のわたくしたちの心の奥底にある、微妙な心情にも触れ、興味が尽きないのである。

わたくしはかねてから太平記を分かりやすい口語にして、絵を添えた本にしてみたいと考えていた。

(『絵本太平記』新井孝重著「序文」より抜粋)

＊ ミニ講演&ギャラリートークショー ＊

新井孝重・高麗文康(高麗神社宮司)

会場：高麗神社 参集殿2階

第1回：3月12日(日) 13:30~15:00

太平記の虚実(その1)

～稲村ヶ崎の迂回作戦はあったのか～

第2回：3月19日(日) 13:30~15:00

太平記の虚実(その2)

～楠正成の河内土豪説を検討する～

第3回：3月21日(火) 13:30~15:00

鎌倉合戦の情景

～『鎌倉殿の13人』の頃の合戦と比較する～

<参加申込み方法>

申込受付：令和5年2月20日(月)より各回開催日前日まで(各回定員になり次第締切り)

定員：各回40人(参加費無料)

申込方法：高麗神社社務所へ、電話または直接窓口にて、必要事項(氏名、住所、電話番号、年齢)をお申し出の上、お申込みください(受付時間は、8:30~17:00)。